

二期の会 「新緑の秩父散策」 (2014年5月27日)

5月27日、健脚15名の参加で新緑の秩父札所巡りを実施しました。

雨が心配されましたが、暑いぐらいの天候に恵まれ、歩いて歩いての二万歩10キロの行程を久しぶりに会った嬉しさも加わり、遠足気分がわいわいがやがや、横瀬から西武秩父近辺の秩父札所を巡りました。

横瀬には、秩父三十四ヵ所の五・六・七・八・九・十番の六堂があり、秩父霊場(札所)は、室町時代に成立したと言われています。その札所は、武甲山中心に分布し、そのいずれからも雄姿を望むことができます。武甲山への信仰が、札所の成立に関与したそうです。



武甲山を望む

横瀬駅から初めに訪れたのは、**横瀬町歴史民俗資料館**。

「武甲山をめぐる自然と生活」「地場産業の移り変わり」がテーマの常設展示では、秩父の山々が海の底だった3億年前の貝の化石に始まり、縄文時代・鎌倉時代の出土品が展示されていました。また、秩父銘仙・武甲山の石灰石を原料に石灰工業の発展の展示もありました。これから巡る秩父札所の由来を学芸員から説明を受けました。



出発 5番札所へ

武甲山を背に田んぼ道が気持ちよかった。



1.9 km

5番札所 語歌堂



大わらじのある仁王門をくぐると1319体の石仏群。有名な子育て観音も。ここで、お弁当。ほっと一息。まだまだ元気です。

1.3 km

4番札所 金昌寺

11番札所へ

新緑のふるさと歩道を歩く。

涼風が心地よい。

1.9 km



ここが一番疲れる行程。暑いし、長い。でも、みんな楽しそう。

10番札所 大慈寺

2.2 km



11番札所 常楽寺

1 km

15番札所 少林寺

ゴール 秩父神社

境内からは、秩父市街や、はるかかなたの山並みが一望。少々疲れ気味。もう一息。本尊は、病氣平癒と長寿のご利益。ぴったり！

一人の脱落者もなく、歩ききりました。帰りは、西武秩父駅で冷たいビールと秩父錦で乾杯。各自レッドアロー号で帰る者あり、各駅停車で宴会をやりながら帰る者あり。お土産を携え帰路につきました。心配された夕刻のわか雨にも遭わず、新緑の秩父散策を満喫した一日でした。 世話人 森・江端・平澤・名古屋